

奈良県感染症情報

平成 28 年 第 40 週(10 月 3 日～ 10 月 9 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

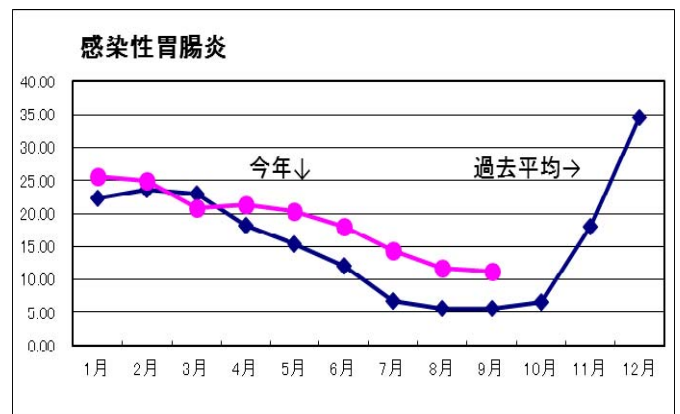
順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.29	(2.88)	→	↘	→	↓
2	RS ウイルス感染症	2.21	(1.29)	↑	↑↑	↑	→
3	流行性耳下腺炎	1.47	(1.85)	→	→	→	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	1.32	(0.65)	↑	↘	↑↑	→
5	手足口病	0.53	(0.59)	↑	↑	↗	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告は横ばいです。右のグラフは、過去の平均と今年の定点あたり報告数を比較したものです。例年 10 月から 11 月にかけて急増しています。手洗い、うがいを忘れず行いましょう。また、食べ物を十分に加熱調理し、生で食べることを控えるなどして予防して下さい。

RS ウイルス感染症が増加しています。近府県では、大阪府や和歌山県も増加傾向です。マスクは毎日新しいものに交換し、清潔なものを着用して咳エチケットを心がけましょう。



❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数は 9 月に続いて多くない。季節の変わり目でアレルギー疾患が目立っている。保育園児で RS ウイルスによる気管支炎がみられる以外目立ったものは無い。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。咽頭症状が主の夏風邪にかわり咳嗽が主の感冒症状例が増加してきた。
 RS が増加・流行中。3ヶ月前後の乳児 RS 陽性例とその同胞など。
 感染性胃腸炎はやや減少。流行性耳下腺炎の流行がずっと持続。
 他に水痘、伝染性紅斑などが僅か。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

呼吸器感染症が増加してきた。典型的なマイコプラズマ肺炎や RS ウイルス感染症もみられる。下痢中心のウイルス性胃腸炎も多い。手足口病も秋になってから増えてきたが、症状は例年の軽症例が多い。夏カゼ由来と思われるウイルス性髄膜炎も 1 例入院した。
 ムンプスは減少している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 28 年 第 40 週 10 月 3 日 ~ 9 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3	
インフルエンザ	5 (0.09)		1 (0.07)		4 (0.40)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	75 (2.21)	14 (1.56)	9 (1.00)	17 (2.43)	34 (5.67)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	11 (0.32)	3 (0.33)	6 (0.67)		2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	45 (1.32)	4 (0.44)	1 (0.11)	3 (0.43)	34 (5.67)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	78 (2.29)	23 (2.56)	8 (0.89)	23 (3.29)	24 (4.00)			
水痘	8 (0.24)	2 (0.22)	2 (0.22)	2 (0.29)	2 (0.33)			
手足口病	18 (0.53)	8 (0.89)	2 (0.22)	3 (0.43)	3 (0.50)		2 (1.00)	
伝染性紅斑	3 (0.09)	2 (0.22)	1 (0.11)					
突発性発しん	14 (0.41)	6 (0.67)	2 (0.22)	4 (0.57)	2 (0.33)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	9 (0.26)	2 (0.22)			7 (1.17)			
流行性耳下腺炎	50 (1.47)	16 (1.78)	6 (0.67)	15 (2.14)	11 (1.83)		2 (1.00)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	10 (1.00)	1 (0.33)	4 (1.33)	4 (2.00)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	2 (0.33)		2 (1.00)					
無菌性髄膜炎	1 (0.17)						1 (1.00)	
マイコプラズマ肺炎	6 (1.00)	2 (2.00)			2 (2.00)		2 (2.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山2、中和2)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(中和1)

❖ 第40週のトピックス ❖

◆ジカウイルス感染症に関するQ&Aについて

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109899.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計	累計	
インフルエンザ	男												2	1								3	7752
	女																2					2	7523
RSウイルス感染症	男	6	5	19	9	4	2	1	1													47	344
	女	3	7	10	5	2	1															28	285
咽頭結膜熱	男				3	1				1				1								6	313
	女			1	1								1	1								5	287
A群溶連菌咽頭炎	男			2	2	4	2	6	4	1	1	1	7									30	1227
	女			1	1	1	1	1	2	1	1	2	4		1							15	1000
感染性胃腸炎	男		1	9	5	10	3	6	1	3	2	1	7	1	3							52	3317
	女		3	3	2	3	2	2	3	1			2	2	3							26	2924
水痘	男		1			1				3	1	2										5	218
	女																					3	156
手足口病	男			5	2		2															9	100
	女			2	5	1				1												9	80
伝染性紅斑	男			1			1															2	385
	女					1																2	429
突発性発しん	男		4	4																		8	374
	女		1	4	1																	6	348
百日咳	男																						5
	女																						5
ヘルパンギーナ	男		1	2	2																	5	563
	女				2	1	1															4	495
流行性耳下腺炎	男			1	1	2	3	8	2	4	2	2	1									26	1042
	女				2	5	1	3	4	4	3	2										24	882
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						2
流行性角結膜炎	男						1															4	92
	女						2															6	123
細菌性髄膜炎	男												1									2	9
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						8
	女			1																		1	3
マイコプラズマ肺炎	男			1	2																	3	103
	女				2	1																3	96
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						54
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						45

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H28 ▲ H27 □ H26 〰 過去10年平均

